



医療法人社団萌気会  
 在宅療養支援診療所 (二日町)  
 在宅療養支援有床診療所 (浦佐)

6

Vol 349

2021/6.15

# もえぎ

大津キヨさん書



清流登川を泳ぐ鯉のぼり  
 撮影地:南魚沼市滝谷農村公園  
 撮影者:コム・ソフィ&ナース職員



2021年6月4日南魚沼市を走る聖火リレー (南魚沼市浦佐)

新型コロナワクチン .....	2
しょうたき萌気たもんの郷 開設1周年 .....	3
漫画 黒岩卓夫一代記 .....	4
高屋肖哲の「千児観音」チャリティー美術展 クラウドファンディングに挑戦しています。...	5
母の日メッセージカード作り .....	6
テイクアウトランチ.....	7
小規模多機能ホームさくりの郷 .....	8

# 新型コロナワクチン



萌気会理事長  
萌気園浦佐診療所 院長 黒岩 巖 志

## 日本の新型コロナ現況

最近の変異株の猛威のためか自宅療養中の死亡例、若年者の重症化が目立つ。6月8日時点で、日本の感染者数累計は76万3,868人。20代～40代の感染者が多い。累計死者数は1万3,678人で致死率1.79%。重症化率は50代以下0.3%、60代以上8.5%。年代別致死率は、未成年0%(22,838人中)、20代0.004%(6人)、以後年代の上昇とともに致死率も上昇し、70代で4.43%(2,428人)と急に上昇し平均を大きく超える。80代10.5%(4,082人)、90歳以上15.0%(2,262人)。

新潟県は累計3,305人で全国29番目。死亡者は40人(致死率1.2%)。

## ワクチンの効果と安全性(表)

ファイザー製の有効性は1回目接種後21～27日目で60%、2回目接種後7日目以降で92%、14日目以降で95%。ファイザー製は、英国・イスラエル・カタールでの接種結果から、英国株、南アフリカ株、インド株に対し93%、75%、88%の感染予防効果を示した。また、国内の研究\*1で、ブラジル株に対し感染を防ぐ中和抗体が約90%できていた。モデルナ製の有効性は2回目接種後14日目で94%。海外の研究\*2によると、モデルナ製接種により、英国株に対しては高率に中和抗体ができていたが、ブラジル株、南アフリカ株、インド株に対しては比較的低率であった。

主な副反応は両者酷似している。現時点でアナフィラキシーによる死者はいない。アナフィラキシーの9割は30分以内に起きている。倦怠感・疲労感、頭痛、発熱は2回目接種後に多く、高齢になる程少ない。2回目接種後、発熱などで勤務不能となる率は20%～30%(ファイザー製)。両者とも副反応は殆どの例が数日で改善しており安全性は高いと言える。長期的影響は未知でありその点が不安材料ではあるが効果の高さから接種が推奨される。

\*1:横浜市立大学による未感染者105人での検討

\*2: April 15, 2021, N Engl J Med ; 384:1468-1470

		ファイザー製				モデルナ製			
タイプ		mRNA				mRNA			
投与間隔		3週				4週			
対象年齢		12歳以上				18歳以上			
従来株に対する効果		95% (1回でも60%)				94%			
変異株に対する効果		英国株⇒93% ブラジル株⇒有 (中和抗体) 南アフリカ株⇒75% インド株⇒88%				英国株⇒有 (以下中和抗体) ブラジル株⇒低下するも有 南アフリカ株⇒低下するも有 インド株⇒低下するも有			
副 反 応	アナフィラキシー (生命に危機を与える過敏反応)	100万人に4.7人 日本では100万人に12.9人				100万人に2.5人			
	38度以上の発熱	1回目	0.9%	2回目	21%	1回目	0.8%	2回目	16%
	接種部位の疼痛	1回目	92%	2回目	91%	1回目	84%	2回目	88%
	倦怠感・疲労感	1回目	23%	2回目	70%	1回目	37%	2回目	65%
	頭痛	1回目	21%	2回目	54%	1回目	33%	2回目	59%
	死亡例	因果関係が明かな例は無				因果関係が明かな例は無			

## 接種不相当者は？

A, 明らかな発熱を呈している人 B, 重篤な急性期疾患にかかっていることが明らかな人 C, 本剤の成分であるPEG (医薬品や化粧品に使われている) に対し重度の過敏症の既往歴がある人。無症状であればほぼ接種可能である。1回目にアナフィラキシーを起こした人は2回目の接種は控える必要がある。

## 既感染者への接種は必要？

米国での研究によると、新型コロナ抗体陽性者(既感染者)の再感染リスクは抗体陰性者の初回感染リスクの1/5程度だった。つまり頻度は低いが既感染者も感染し得るのでワクチンを接種すべきである。

**ワクチン接種後直ぐに旅行や大勢での飲食が可能になる訳ではありません。全国の感染者数が減るまでは今の生活様式を続ける必要があります。20代～40代の接種が収束への鍵です。是非ワクチン接種を!!**

# しょうたき萌気たもんの郷 開設1周年



6月1日、たくさんの方々の支えにより開設1周年を迎えさせていただきましたことが出来ました。

新型コロナウイルスの感染拡大のためさやかではありますが、当日ご利用いただいていた利用者の皆様と職員で開設1周年記念の会を行いました。

お昼は厨房職員手作りのお祝いお弁当を召し上がっていただきました。ノンアルコールビールで乾杯をされた方もいらっしゃいました。午後のレクリエーションでは職員のお祝いの踊りを披露。さらに厨房職員手作りの巨大ケーキも召し上がっていただきながら、たもんの郷1周年記念をお祝いしました。

たもんの郷はまだまだ成長段階ではございますが、より居心地の良い楽しい空間を目指し、利用者さんやご家族様、そして地域の皆様のご期待に添えるよう、職員一同新たな決意で技術とサービスの向上に努めて参ります。

どうぞこれからもよろしくお願いたします。

しょうたき萌気たもんの郷 職員一同



職員手作りの花の看板

昼食は、厨房の皆さんが手作りしたお祝いお弁当



玉子焼き・シュウマイ・サーモンフライ・ミニ厚揚げ・ポテトサラダ・ゆかりご飯等



厨房職員手作りの巨大ケーキ



ノンアルコールビールでお祝い

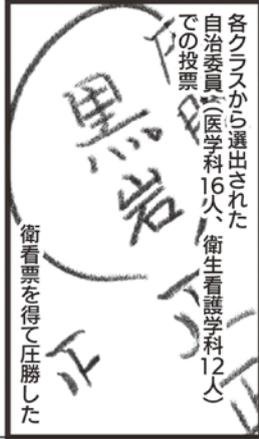


リハビリセンター職員 外角洋子



曼陀羅華職員 種村巳代子

第9話  
最後の60年安保  
樺美智子の死と  
卓夫の重症



1960.6.15は安保闘争のクライマックスだった。国会構内の激突と樺美智子さんの死によって、6月18日自然成立まで毎日20万を越す全国からのデモ隊で首都は揺れていた。しかし運動のエネルギーは、リーダーの力不足から、一気に終焉を迎えた。岸内閣も総辞職した。当時、卓夫と秩子は姓の黒岩と北大路でよんでいた。

# 高屋肖哲の「千児観音」チャリティー美術展 クラウドファンディングに挑戦しています。

南魚沼市 新型コロナの影響を乗り越えるために



再生

**地域で母子家庭を助ける  
「みんなの冷蔵庫」を設置したい!**

● 集まっている金額  
**¥360,000** (目標 ¥1,000,000)

■ 目標達成率 **36%**

● 購入数 **60**

● 残り時間 **20日 15:09:54**

商品一覧を見る

♡ お気に入りに追加する

コロナ禍の「母子家庭の経済的困窮」に対処するために、本プロジェクト実行委員長 黒岩卓夫が所蔵する高屋肖哲の作品（一部、金沢美術工芸大学から借受）でチャリティー美術展を企画しました。クラウドファンディングによって支援をお願いし、集まったお金で「みんなの冷蔵庫」を設置したいと考えています。個人や商店、企業から不要となった食料品・日用品を寄付していただき、設置した冷蔵庫に整理・収納して必要なモノを受け取れることができる仕組みです。イギリスを中心に広がり、日本では2021年2月に岡山市にはじめて設置されました。

お歳暮でいただいた加工品、賞味期限の迫った商品などをご寄付いただき冷蔵庫に収納し、必要な方が必要な時に冷蔵庫から、いつでも受け取ることができます。

このコロナ禍で、今、私たちが出来ることを共におこないましょう。

ご支援のほど、よろしくお願いいたします。

<https://idea-yomiuri.en-jine.com/projects/moegi-mirai>



## 高屋肖哲の「千児観音」 チャリティー美術展フレイイベント 粘土細工で「へそのお」作成

幼稚園、小学生と保護者に粘土で「へそのお」を作成して頂きました。母と子の大切なつながりである「へそのお」の作成を通して、生まれてから今日までの思い出、未来について自然に語り合い、お母さんがわが子の可能性と、ご自分の可能性を見出せる場となりました。

池田記念美術館 児童 13 名、保護者 7 名、関係者 10 名にて行いました。

5月30日、池田記念美術館にて母と子の「つながり」をテーマに「粘土細工」の製作に小学4年生の息子と参加させていただきました。

参加前、息子は「粘土細工」には興味を示してくれませんが、「へそのお」には関心を持っていませんでした。製作が始まり「自由に」と言う主催者側の話を聞き、本当に自由に作成していました。親的にはテーマに添えず申し訳ない気持ちでいっぱいでしたが、完成した他者の作品を見て「へそのお」に息子も多少興味を持ったようで、自分の作った作品にも「へそのお」を付け作品を完成することができました。

元助産師の「へそのお」の働きの説明を聞き、改めて母と子のつながり、絆を実感することができました。健やかに成長している息子の姿に、驚きを隠せない一日となりました。

萌気会職員 青木 夏子



高屋肖哲の「千児観音」チャリティー美術展 6/4(金)～7/5(月)

# 母の日メッセージカード作り 曼陀羅華

曼陀羅華では、母の日にちなんで普段お世話になっている人に感謝の気持ちを伝えるために、折り紙のカーネーションを飾ったメッセージカード作りを行いました。皆さんの感謝の気持ちが相手の方に伝わりますように。



## 浦佐認定こども園



汚れることを気にしないで遊ぶ子どもたち。みんな夢中で遊んでいます!!



砂遊びをダイナミックに! 砂&水=子どもの天下です。



大きな大きなダンボールのトンネルの中は、笑顔と歓声がいっぱい(2才児)



ダンボールの車に乗ってお出かけです。「発車しますよ」園生活にも慣れ、園内全体を使って遊んでいます。(0才児)

# テイクアウトランチ



人気No.1 チラシ丼



人気No.2 握り寿司

頼んで元気!  
食べて元気!  
コロナに負けるな!

こんにちは、リハビリセンターです。

利用者さんから超好評の「お出かけリハビリ」ですが・・・残念ながら今年もコロナの影響で中止となりました。ですが、今年も楽しいイベントを企画しています。

第一弾は地元のお店をテイクアウトで盛り上げよう!! 「テイクアウトランチ」。今回は「リトル北海道」さんに協力して頂きました。

1番人気はチラシ丼!! 2番人気は握り寿司盛り合わせ!!

「店に食べに行きたいけどなかなか行けないのよね～! 食べることができて良かった」と話されていました。

職員もテイクアウトし、利用者さんと一緒に美味しく楽しい昼食となりました。



## 書籍紹介

今回は、雨が多い季節にピッタリ! 今話題の片付けの本をご紹介します。

「人生がときめく片付けの魔法」著者: 近藤 麻理恵

### 著者の経歴

5歳から『ESSE』等の主婦雑誌を愛読。中学生の頃から本格的に片付けの研究を始め、19歳の時にコンサルティング業を開始し、独自の片付け法『こんまりメソッド』を編み出す。



以前から当著者の作品に興味があり、書店で見かけた際に購入しました。

主な内容としては、家の中の衣類、書類、小物、思い出の品といった物の片付け方について著者自身の実体験に基づく独自の方法を丁寧に紹介しています。物を捨てる際はときめくかどうかを判断基準とし、何でも手に取らずにすぐ捨ててしまうのではなく一度触ってから決めるとのことです。

特におすすめしたい見どころは、一度片付けたら二度と散らからない『リバウンドしない片付け方』です。著者はなるべくたたむことを推奨していて、場所ごとに片付けるのではなく洋服、本、小物といった種類ごとに片付けを行う、タンスに入れる時は立てて収納する、置く場所を決めて使い終わったら元に戻すなど具体的に説明されています。

この本を読むことで、手放す物(捨てる物)に感謝することなど、物に対しての向き合い方を知ることによって物を大切にすることが養われました。本の内容を実践した事で、家の中は快適な心地良さです。そして、衣類をたたむのが楽しくなりました。

萌気園訪問リハビリテーション りらいふ 木暮 拓美

## 南魚沼季節の花々(5月～6月)



## 小規模多機能ホームさくりの郷

とても穏やかで、素敵な笑顔でいらっしゃいます！

昭和9年10月16日生まれ。南魚沼市生まれ、南魚沼市育ち。

笠原さんと言えば、縄ないと民謡の名人です。これは間違いありません！

しめ縄はずいぶん長く出荷もされていたそうですから、もしかしたらウチのしめ縄は笠原さんの作ったものだったかも！？

また、民謡は聞くのも歌うのも大好き！さくりの郷で民謡の番組が流れると、テレビの前でじっくりご覧になっています。十八番は「佐渡おけさ」とのこと。レクリエーションの時間に急をお願いしても、伸びのある歌声を聞かせてくださいます。

そればかりではありません。日課をお聞きすると、「新聞を読んでいるよ。今はコロナウイルスについての記事を特に気にして見ている。」とのこと。

いろいろなことに興味を持ち、世の中の動きに関心を持っておられるのは、若さと健康の秘訣ですね。私も見習いたいです。これからも期待しています！

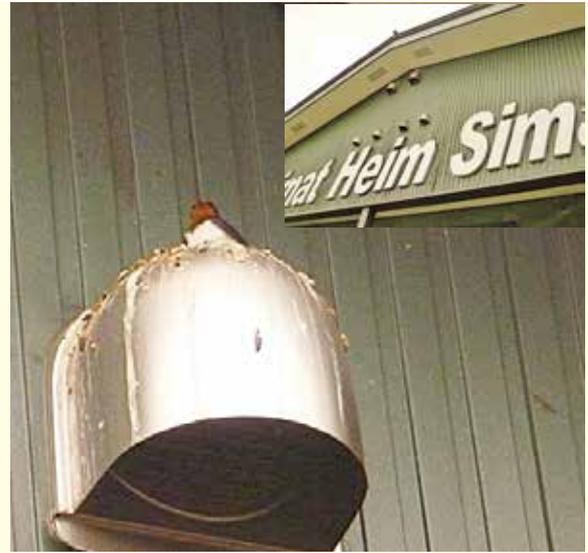


利用者 笠原 豊明さん

## 萌気園浦佐有料老人ホーム 「ハイマートハイム島田」

ハイマートハイム島田では、春の晴れた日に毘沙門様まで散歩に出掛けました。利用者さん達は久しぶりに外気に触れ、沿道に咲く季節の花々を眺めながら春を満喫していました。

夏を迎え田植えが済んだ頃、今年もツバメが巣作りをして子育て中です。昨年までは玄関付近や通りに面した窓の上の壁に巣を作っていて利用者さん達も季節を感じながら雛の成長を見守り楽しんでいました。昨年巣立った後に糞対策用のシートを壁付近に掛けたからか、今年は更に高所の排気口の上に巣を作っていました。巣や雛の姿は見みにくくなってしまいましたが、元気な鳴き声が時折聞こえています。



## 安心コラム Dr. kuroiwa



コラムという形で“安心”と広く対話をしてみたい。

まず自分の大きな“病気”といえはなにか。そして“病気”、“病”を広辞苑で引いてみた。その説明

をみると病気とは何かがよくわからなくなる。「病(やまい)」の項には①やむこと、病気、いたつき。

②よくない性癖、欠点、短所、きず。

③気がかり、苦勞のたね、とある。

まず自分のかかった大きな病気を年代順にみると、発疹チフス、肺結核、脳梗塞、不整脈。そして今は頸部の筋肉異常だが、病名はまだ納得のいくものはない。大きな外傷ではデモによる胸部圧迫による意識不明(約8時間)だ。もえぎ新聞今月号の「一代記」で6.15デモのことを書いている。

**浦佐診療所よりお知らせ** 7月3日(土)・17日(土)・31日(土)は休診とさせていただきます。



## 編集後記

萌気園老人ホーム「すみれ草」 渡邊 麻衣子

今年は寒暖差が激しくなかなか温かくなかないように思います。体調管理には十分に気を付けたいものです。

新型コロナウイルスが終息されないまま、今年もオリンピックが開催されようとしております。新潟県内で行われた聖火リレーは6月4日(金)、5日(土)の2日間でした。1日目の最終区間は南

魚沼市でした。午後8時頃南魚沼市のゴール地点、「八色の森公園」に姿を現したのはお笑い芸人のおばたのお兄さん。会場では聖火を聖火皿に移すセレモニーが行われました。

早くコロナが終息し、平常な日常が来ることを祈るばかりです。今後もしっかりと感染対策をし、感染しないようにしていきましょう。